

住宅医の活動と断熱改修の実際



三澤文子

MS建築設計事務所主宰

日本のストック住宅の現状

耐震性能の不足



日本のストック住宅の現状

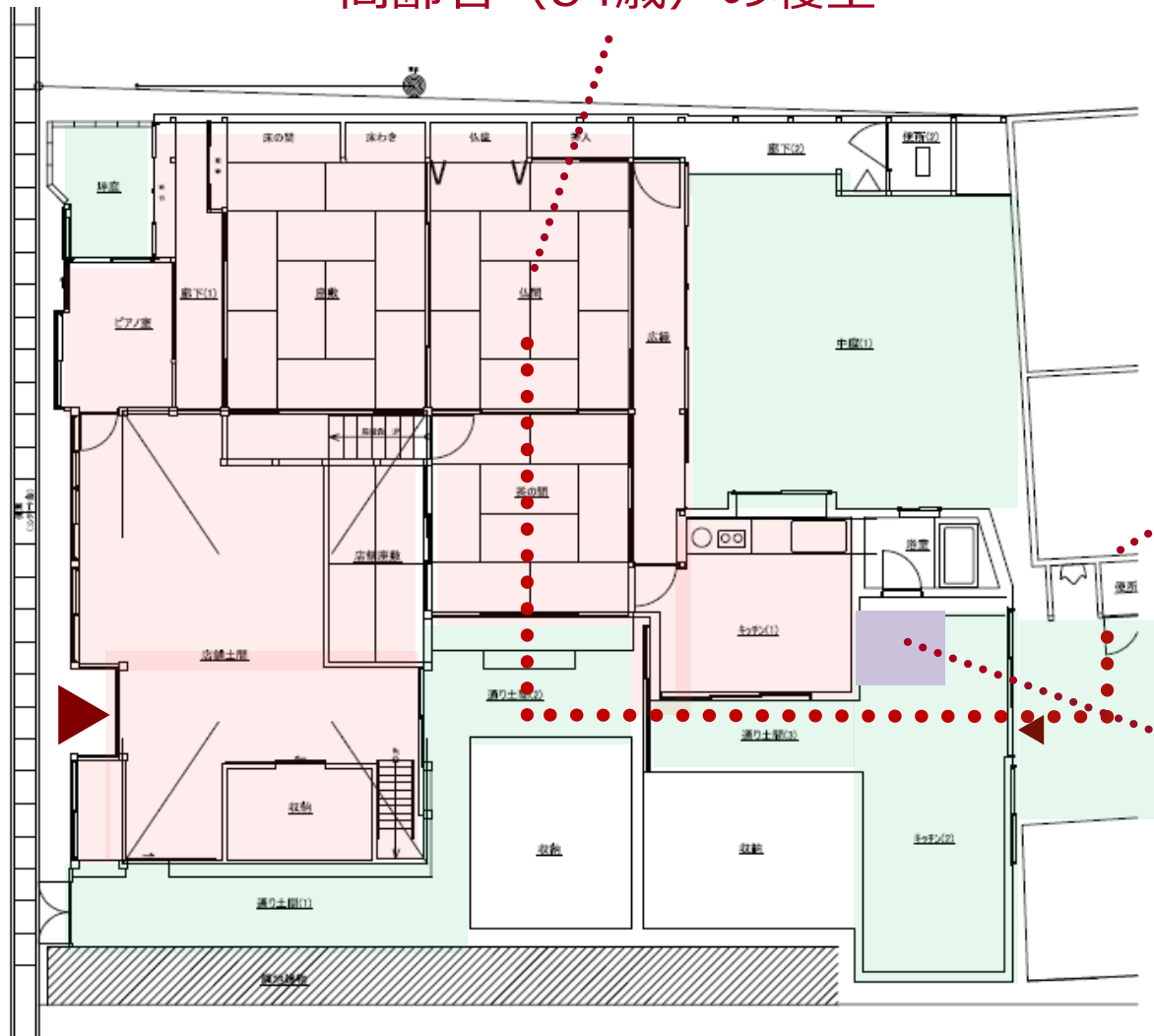


メンテナンス不足による劣化



ヒートショックを起こしかねない温熱環境

高齢者（84歳）の寝室



日本のストック住宅の現状



エネルギーの浪費



開放型ストーブ



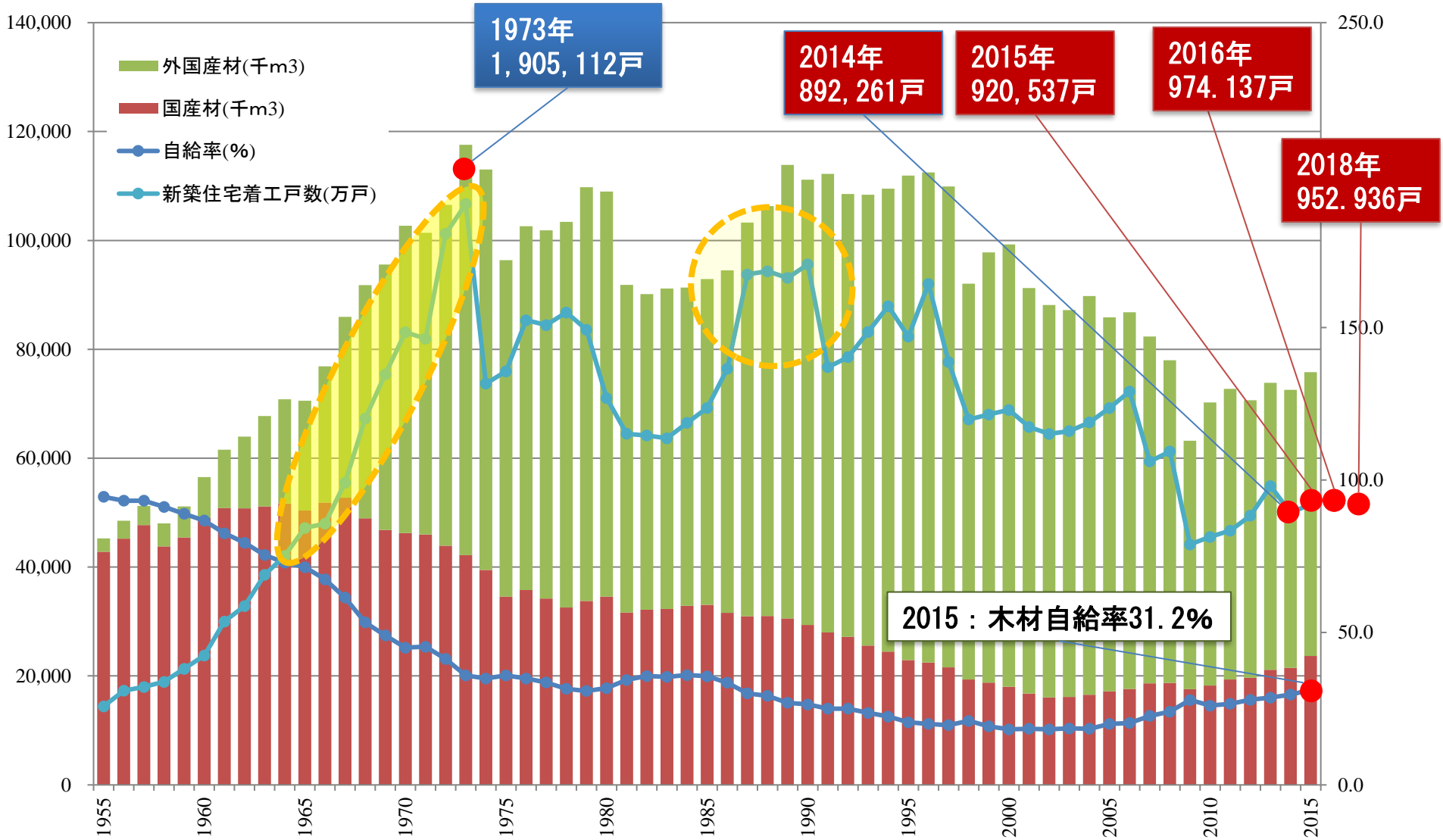
深夜電力温水器



無断熱住宅

日本のストック住宅の現状

日本の木材自給率と新設住宅着工戸数の推移



資料：木材自給率「林野庁木材需給表 H27年版」をもとに作成
 新設住宅着工戸数「国土交通省建築統計年報H28年版（H26年発表）」による

住宅医が実施する 既存ドックシステムとは



「住宅医による木造住宅調査診断」

一般的な調査診断の種類

※「既存住宅インスペクション(調査診断)ガイドライン/国土交通省」に基づく分類

一次的調査※ (劣化調査)	二次的調査※ (耐震診断)	性能向上調査※ (住宅医による性能向上診断)
------------------	------------------	---------------------------

主な調査診断項目(性能)

劣化調査	劣化調査	劣化調査 耐久性	省エネ
	耐震性	耐震性	バリアフリー
		温熱性	火災時の 安全性

こんなときに

中古住宅 売買時の 建物検査	現状の 耐震性能 を知りたい	二世帯化や間取り変更 など、大規模リフォーム を検討したい
維持管理 のための 定期点検	耐震補強 について 検討したい	耐震、温熱など、総合的 な性能向上リフォーム を検討したい

一般的な費用(目安:税込) (注)

7.7万円 程度～	16.5万円 程度～	27.5万円 程度～
--------------	---------------	---------------

(注) 費用は、既存住宅の規模や調査の内容、地域によって異なります

住宅医による性能向上診断(既存ドック) — 建物詳細調査 —

小屋裏・天井裏

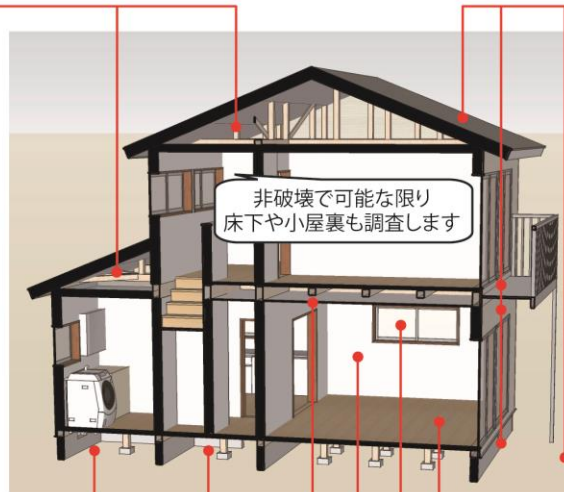


軸組材・下地材・断熱材・換気口など

地面・基礎・軸組材・下地材・断熱材など



床下



非破壊で可能な限り
床下や小屋裏も調査します

屋外・外構



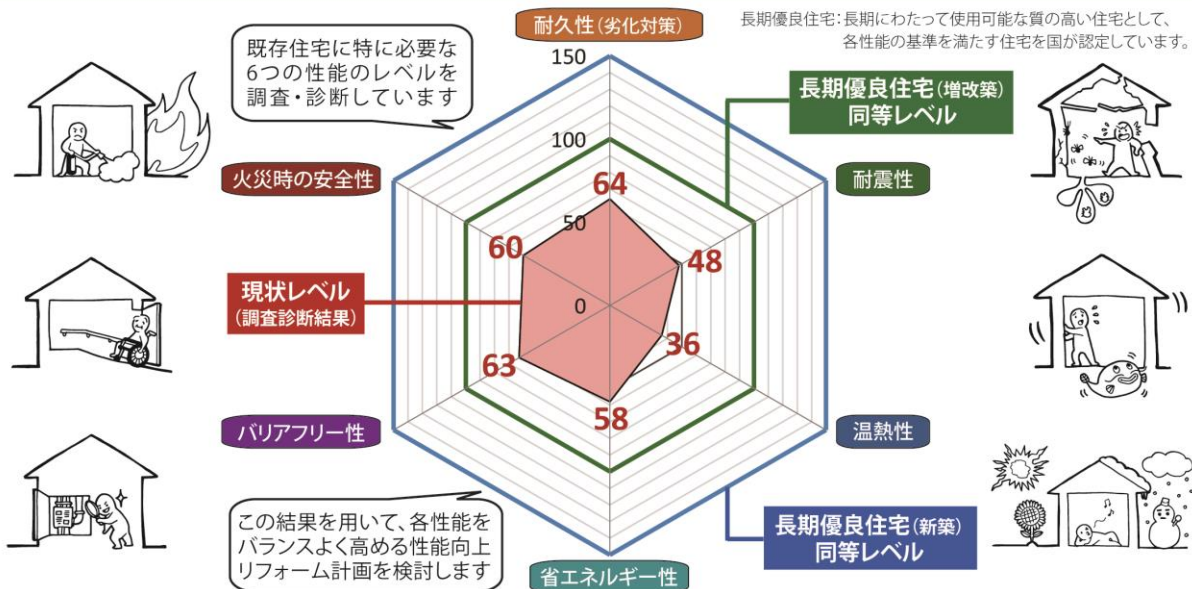
基礎・外壁・屋根・バルコニー・塀など

天井・内壁・床・開口部・設備機器など



室内・設備

住宅医による性能向上診断(既存ドック) — 6つの性能診断 —



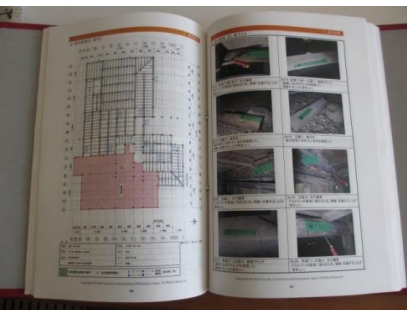
住まいの診断レポート（目次）

住まいの診断レポート

建物調査診断報告書

Ver.2021

住宅様邸



令和3年10月23日

●●●●建築設計事務所

目次

I 調査診断結果概要

- はじめに、注意事項
- 調査実施概要
- 建物概要、法規制概要
- 住まいの履歴
- 現況平面図、現況写真
- 性能診断結果概要

II 各性能診断結果詳細

- 01 耐久性（劣化対策）
- 02 耐震性
- 03 温熱性
- 04 省エネルギー性
- 05 バリアフリー性
- 06 火災時の安全性

III 添付資料

- 住まいの問診票
- 調査野帳
- 耐震性能計算書
- 温熱性能計算書
- 一次エネルギー消費量計算書

「住まいの診断レポート」の提出

木造建築病理学を踏まえた 既存住宅の調査診断方法とは

詳細調査および調査結果の診断では、長期優良住宅認定基準の中にある項目をもとに、5項目をあげ、さらに、火災時の安全性を加えて6つの項目が、既存住宅の性能把握に特に重要であるという判断から、以下の6つの住宅性能項目を中心に調査・診断を行っている。

- ①劣化対策（劣化の軽減に関すること）
- ②耐震性（構造の安定に関すること）
- ③断熱性
- ④省エネルギー性
（温熱環境・エネルギー消費量に関すること）
- ⑤バリアフリー性（高齢者配慮に関すること）
- ⑥火災時の安全性（火災時の安全性に関すること）

住まいの健康調査

事前調査

1～2人で訪問 : 2時間]



住まいの精密検査

詳細調査

[10～20人程度のチーム : 1日]



報告書の作成（分析・診断）

[約 1ヶ月]



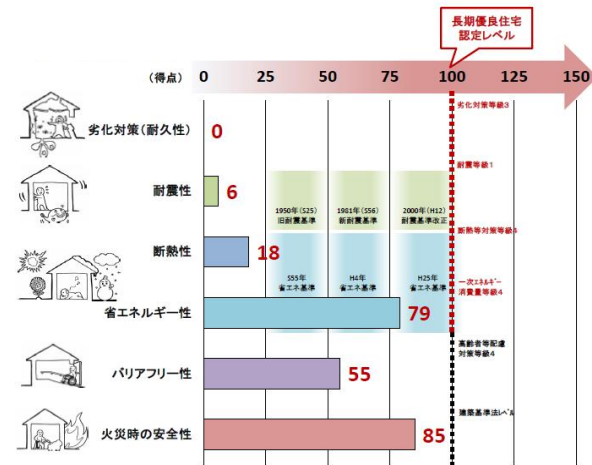
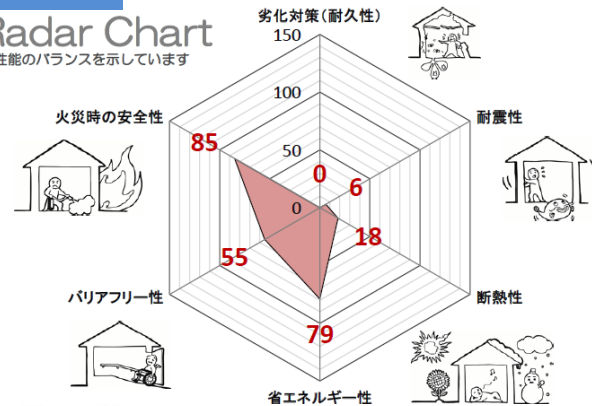
「住まいの診断レポート」の提出



改修前

Radar Chart

各性能のバランスを示しています

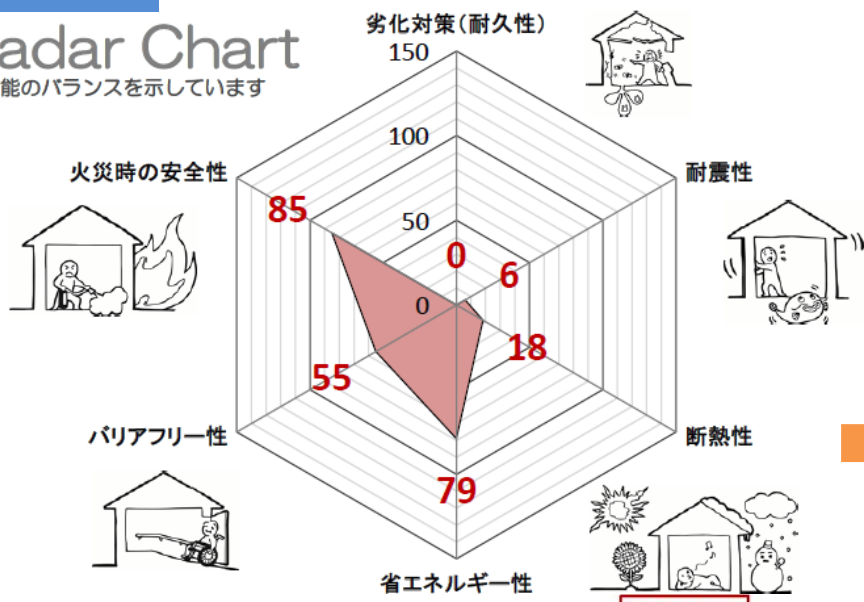


「住まいの診断レポート」報告会

改修前

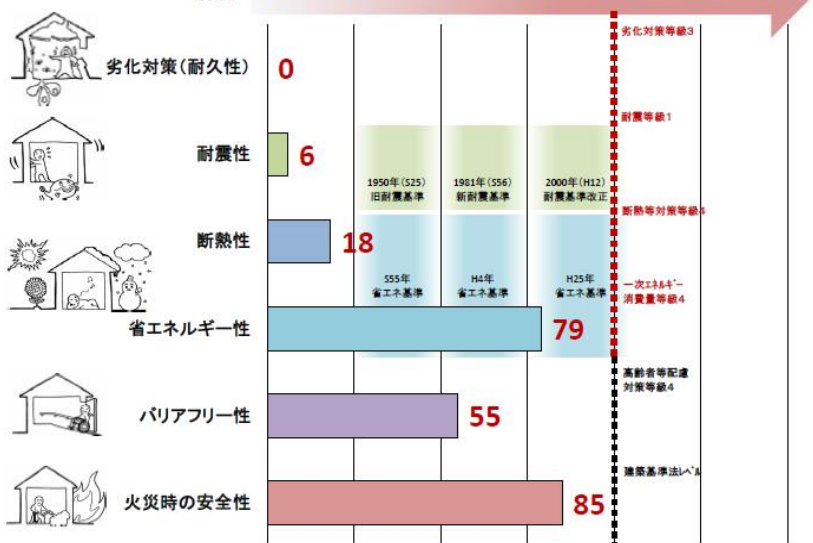
Radar Chart

各性能のバランスを示しています



長期優良住宅
認定レベル

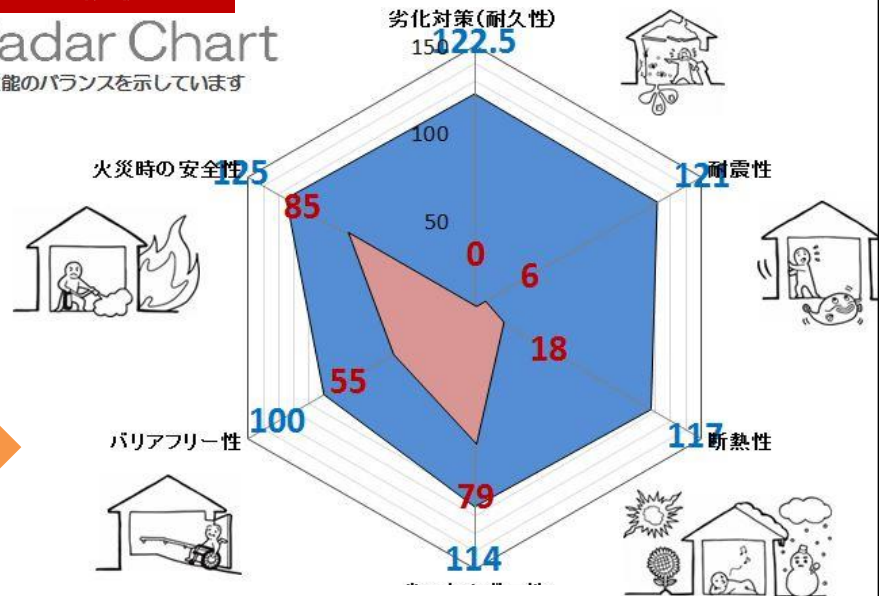
(得点) 0 25 50 75 100 125 150



改修後

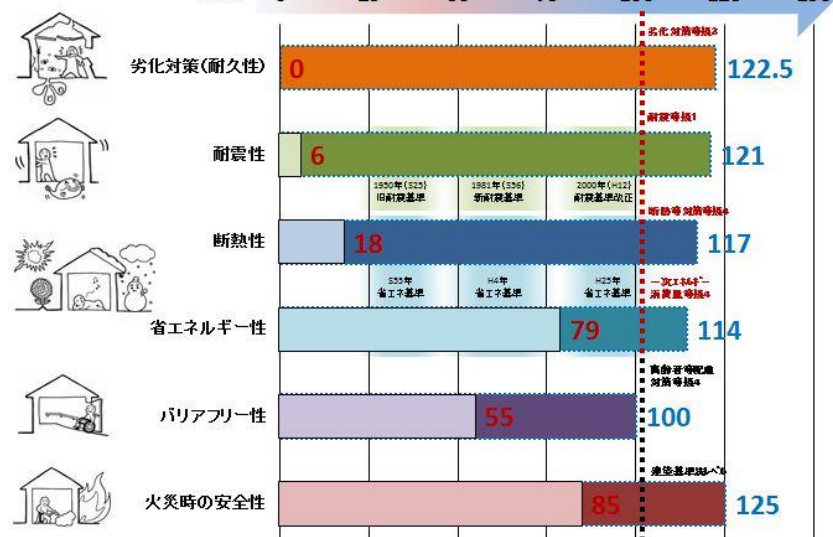
Radar Chart

各性能のバランスを示しています



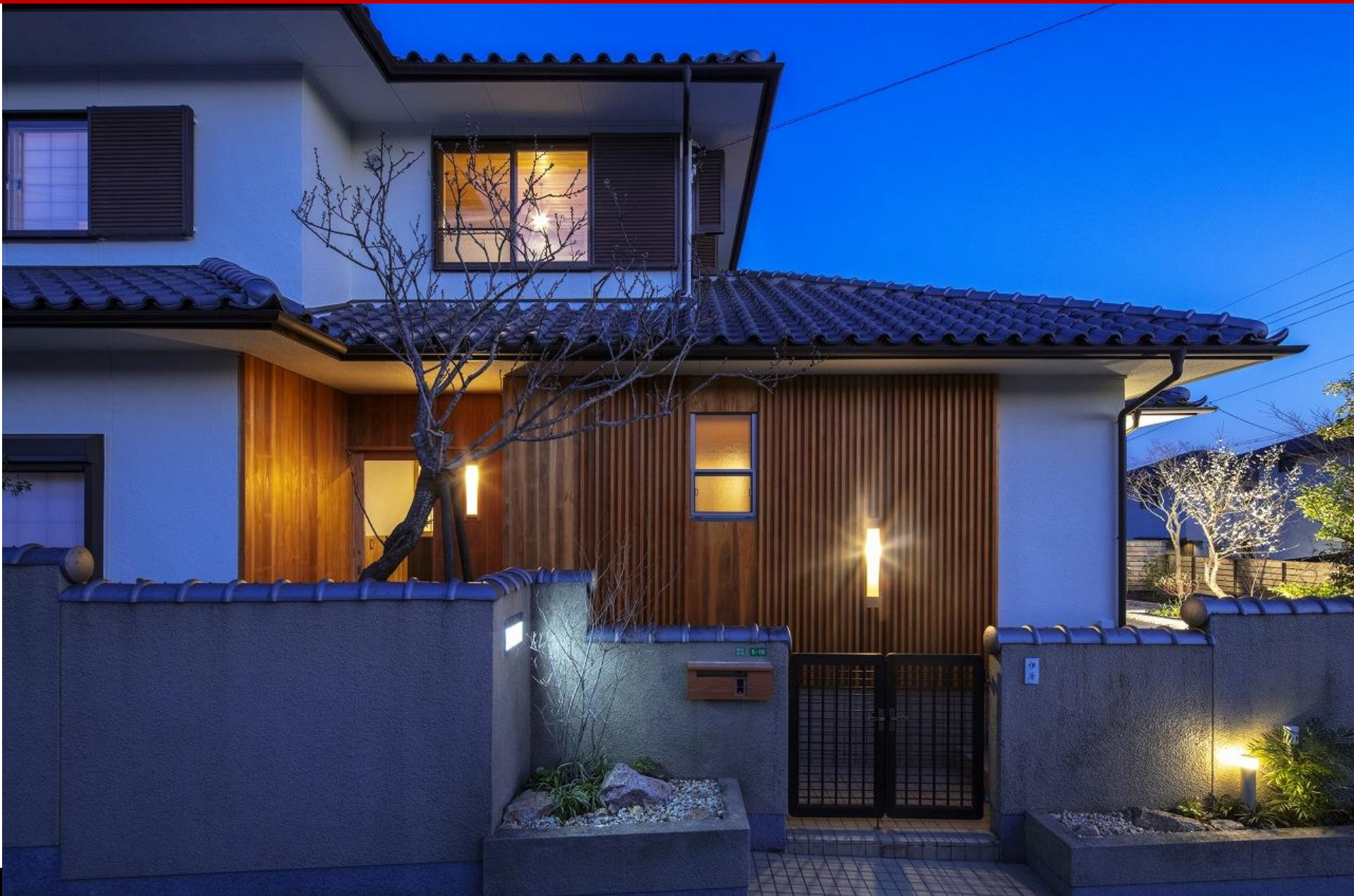
長期優良住宅
認定レベル

(得点) 0 25 50 75 100 125 150



住宅医の改修事例 1
2020

築33年の耐震 + 断熱改修



既存建物概要

所在地	：	
用途地域	：	第1種低層住居専用地域
		防火指定無し
主用途	：	専用住宅
構造・規模	：	木造 地上2階建て
建設年	：	1987年（昭和62年） 築年33年（改修完成時）
敷地面積	：	223.51m ² （67.61坪）
延床面積	：	131.32m ² （39.66坪）
1階	：	87.25m ² （23.39坪）
2階	：	43.88m ² （13.27坪）



住宅医 詳細調査

調査: 2018年10月10日

調査人員: 9名

調査費用: 221,508円(税込み)



調査スケジュール・分担表

10/10(水)	時間	8:45 現地 入り	9:00~12:00	12:00 -13:00	13:00~17:00	17:00 -17:30	
チーム(●リーダー)							
1 ●新井良子	調査用具搬入・着替え・用具類準備		<input type="checkbox"/> 劣化	<input type="checkbox"/> 劣化	昼食(弁当(現地配達))・休憩・進捗確認	<input type="checkbox"/> 劣化	<input type="checkbox"/> 劣化
2 ★宮本岳拓 酒谷明日香			<input type="checkbox"/> 採寸(平面・配置)	<input type="checkbox"/> 採寸(平面・配置)		<input type="checkbox"/> 採寸(バリアフリー)	<input type="checkbox"/> 採寸(設備)
3 ●山田真大 逢坂 涼平			<input type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> 展開		<input type="checkbox"/> 展開	<input type="checkbox"/> 展開
4 ●久保亜弓			<input type="checkbox"/> 立面	<input type="checkbox"/> 立面		<input type="checkbox"/> 立面	<input type="checkbox"/> 立面
5 ●上野縞市			<input type="checkbox"/> 床下	<input type="checkbox"/> 床下		<input type="checkbox"/> 床下	<input type="checkbox"/> 床下
6 ●中根健一			<input type="checkbox"/> 小屋裏	<input type="checkbox"/> 小屋裏		<input type="checkbox"/> 小屋裏	<input type="checkbox"/> 小屋裏
7 ●三澤文子			<input type="checkbox"/> 矩計図	<input type="checkbox"/> 矩計図		<input type="checkbox"/> 矩計図(仕上げ・採寸)	<input type="checkbox"/> 矩計図(仕上げ・採寸)
計 9名						清掃片付・着替え・調査記録資料受け渡し・調査まとめ	



詳細調査 改修前断熱性能

●非破壊による現況調査

省エネ基準 地域区分

→ 4地域 (IV地域)

年間日射地域区分

→ A4区分 (年間の日射量が多い地域)

暖房期日射地域区分

→ H2区分 (暖房期の日射量が少ない地域)

Q値:

3.53W/m²K

>2.7W/m²K

UA値:

1.09W/m²K

>0.87W/m²K



底冷えがするというヒアリング結果の裏付けになった。

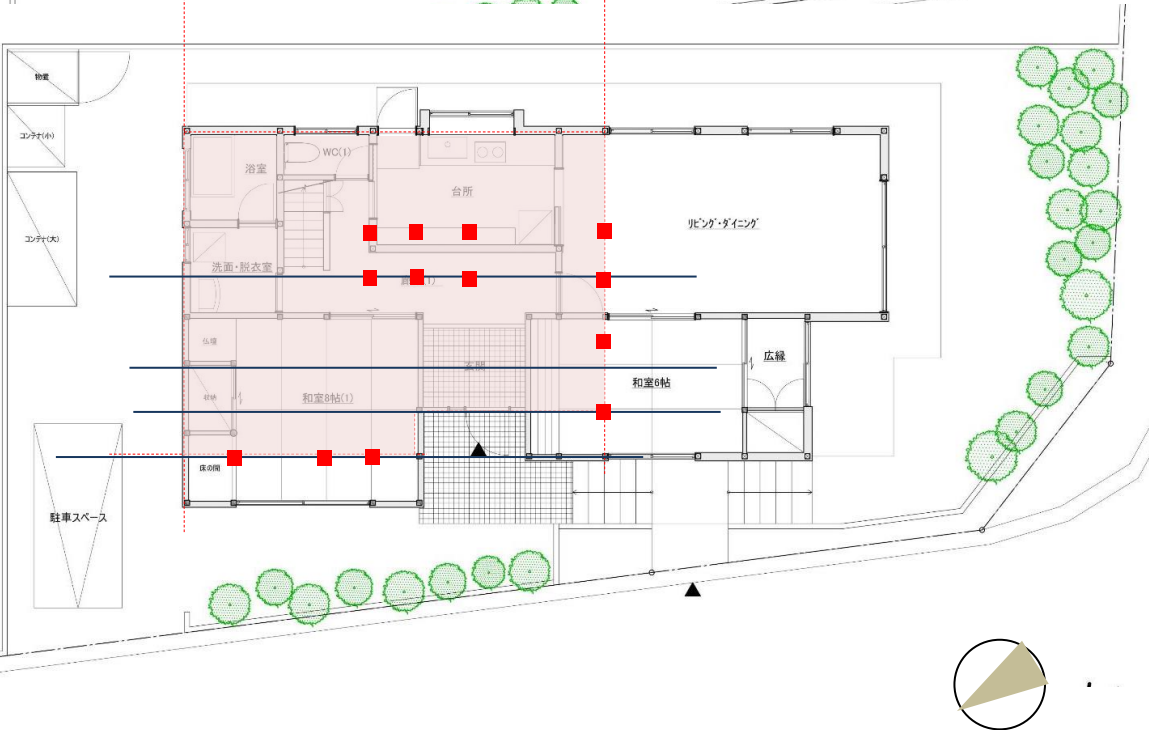
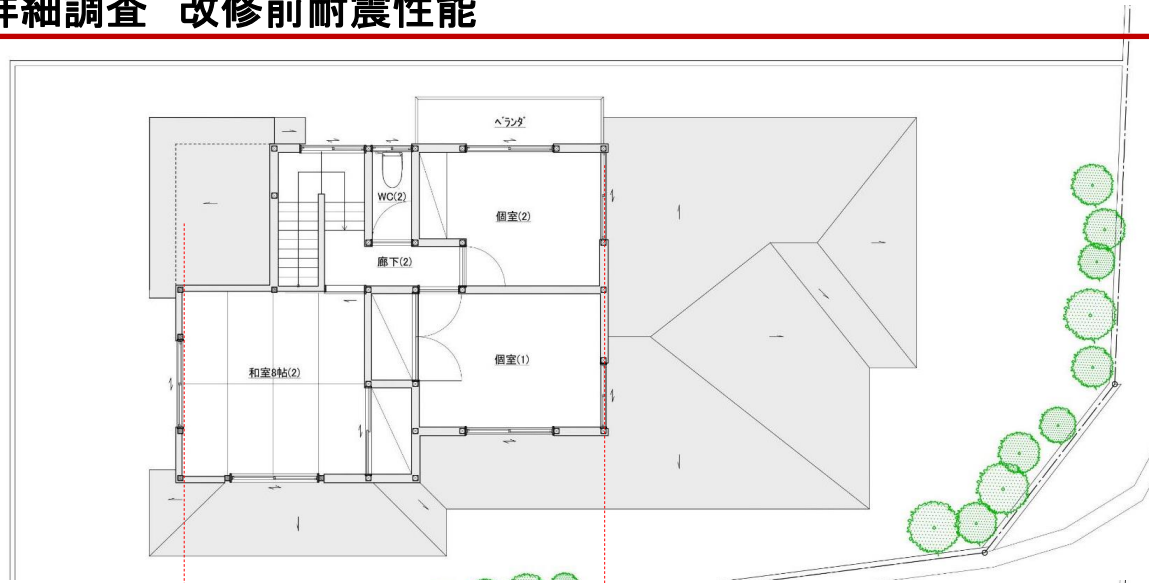
【断熱材】

(床) グラスウール 100 mm程度	(床) 洗面脱衣室: カネライトフォーム 40 mm程度
(小屋裏天井) グラスウール 60 mm程度	(外壁) グラスウール 100 mm程度

【開口部】

アルミサッシ、シングルガラス、雨戸付き	アルミサッシ、シングルガラス
アルミドア(勝手口)	アルミドア(玄関)

詳細調査 改修前耐震性能



◆耐震診断結果

評点

0.47

2階	X:1.48
	Y:1.35
1階	X:0.47
	Y:1.13

◆構造的特徴

- 有筋基礎
- 筋交い耐力壁 (金物無し)
- 木製火打ちあり

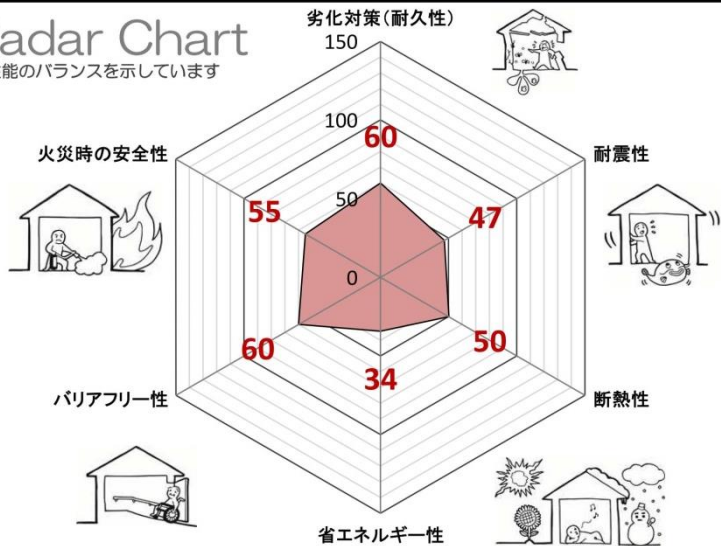
◆軸組の問題点

- 2階の外壁の下に柱・耐力壁が無い部分がある。

改修前

Radar Chart

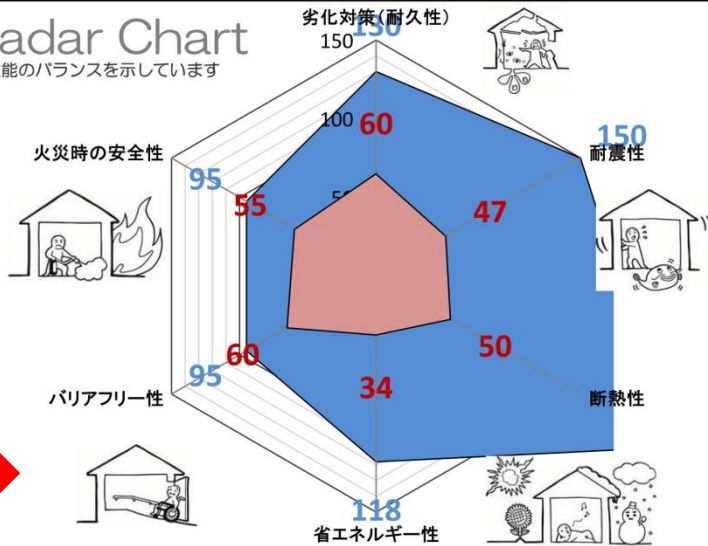
各性能のバランスを示しています



改修後

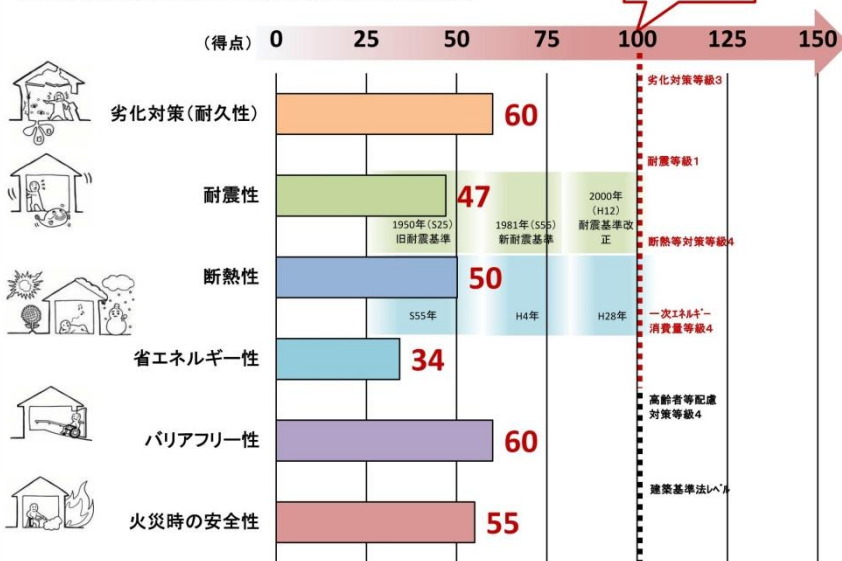
Radar Chart

各性能のバランスを示しています



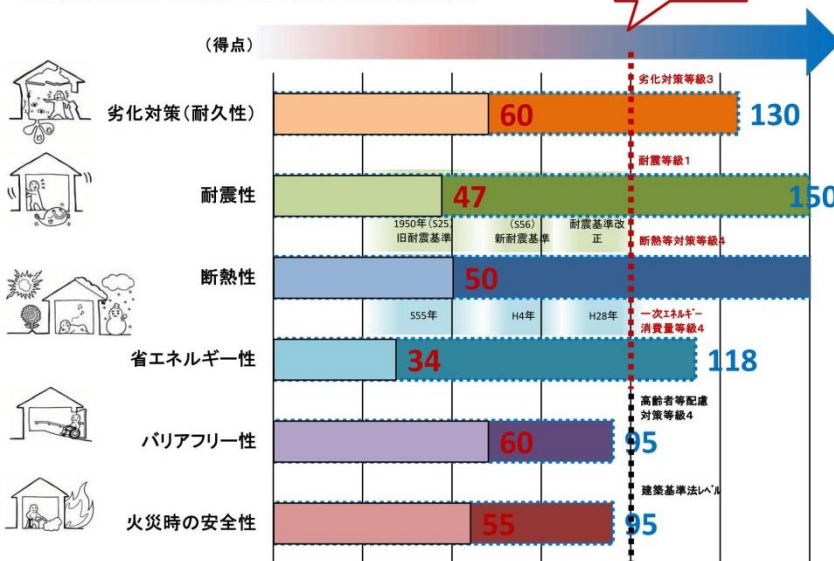
Bar Chart

各々100点を超えると、長期優良住宅レベルになります
(長期優良住宅認定基(増改築)に用いられている住宅性能表示制度)



Bar Chart

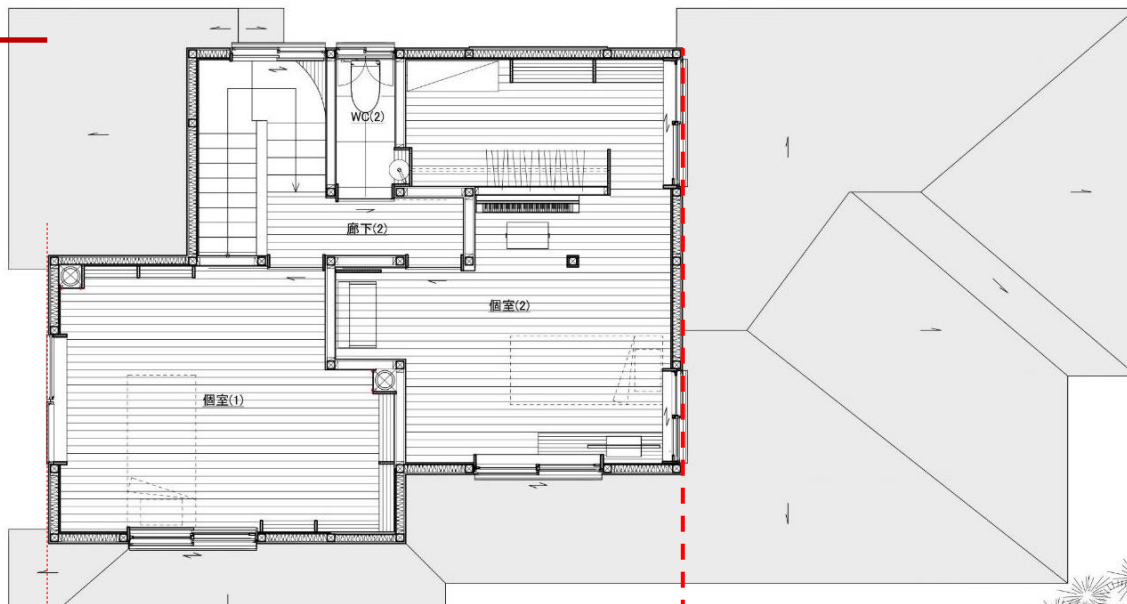
各々100点を超えると、長期優良住宅レベルになります
(長期優良住宅認定基(増改築)に用いられている住宅性能表示制度)



プランニング

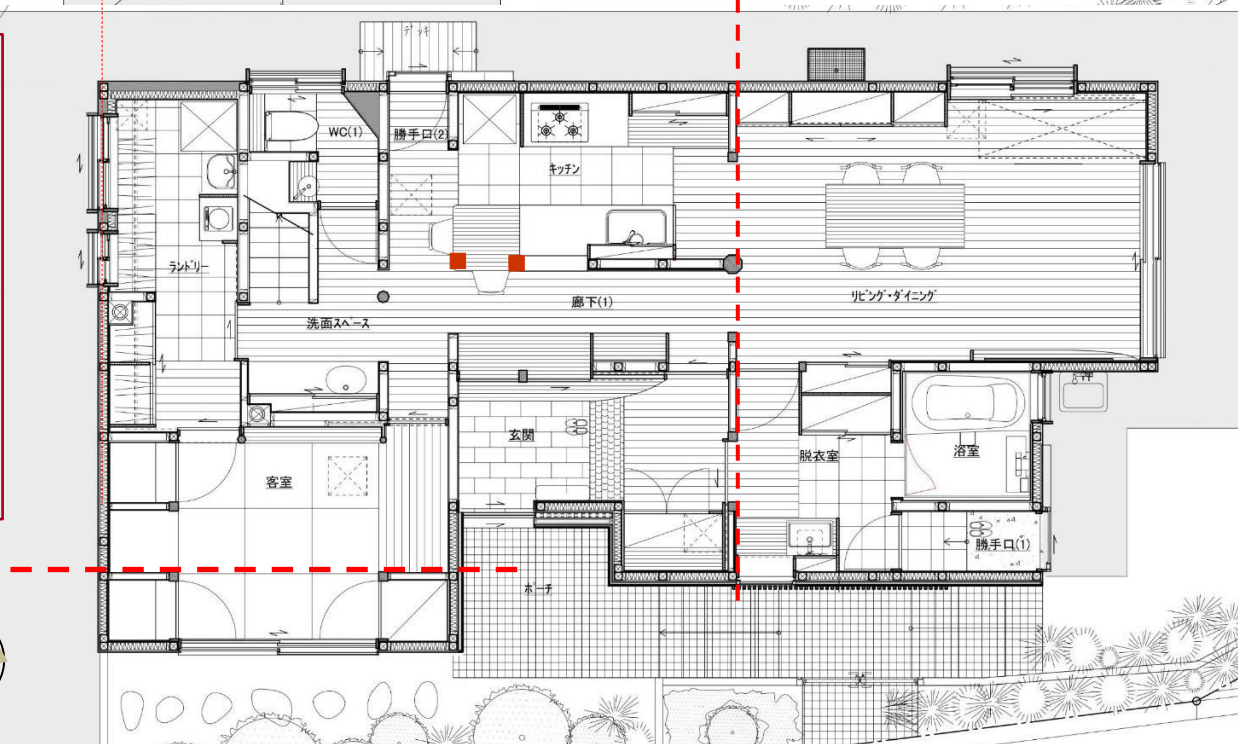
2階プラン

- 妹と兄の個室のみにして広さを確保。



1階プラン

- 要望により浴室を南に。
- ランドリー室を設けた。
- 座敷を4.5帖の客間に。



断熱性能

屋根 平均U値

0.22W/m²K <0.24W/m²K

PFB(ア) 100×2 天井敷き込み

外壁 平均U値

0.32W/m²K <0.53W/m²K

PFB(ア) 100【充填】 一部フェノバボード(ア) 50

土間・床 平均U値

0.21W/m²K <0.48W/m²K

基礎断熱 ミラフォームMKS(ア)50全面敷込み

開口部 平均U値

2.22W/m²K <4.65W/m²K

アルミ樹脂複合サッシ (サーモスII H Low-E複層ガラス)
インナーサッシ (インプラス) 木製建具 (玄関)



Low-E複層ガラス

熱貫流率：2.33w/m²K
気密性能：A-4(2)等級

サーモスII-H：LIXIL

改修前

Q値:

3.53W/m²K
<2.7W/m²K

UA値:

1.09W/m²K
<0.87W/m²K

換気を除く外皮熱損失量q値を外皮面積で除した値で、外皮平均の断熱性能。

改修後

Q値:

2.01W/m²K
<2.7W/m²K

UA値:

0.40W/m²K
<0.87W/m²K

換気を除く外皮熱損失量q値を外皮面積で除した値で、外皮平均の断熱性能。



色：ライトウッドG

Low-E複層ガラス
熱貫流率：1.7W/m²K

インナーサッシ：インプラス

気密測定

C値 = 3.3 cm²/m²

αA = 471 cm²
n = 1.52
Q₉₉ = 669.5 m³/h
C = 3.3 cm²/m²
S = 142.73 m²
グラフ: (ゼロ) 押し
印刷: (スタート) 押し
終了: (停止) 押し

AMENITY
AERO
TESTER

JIS
A 2201
対応

測定モード
自動 ■ 手動

減圧法 ■ 加圧法

ゼロ/確認

送風機調整

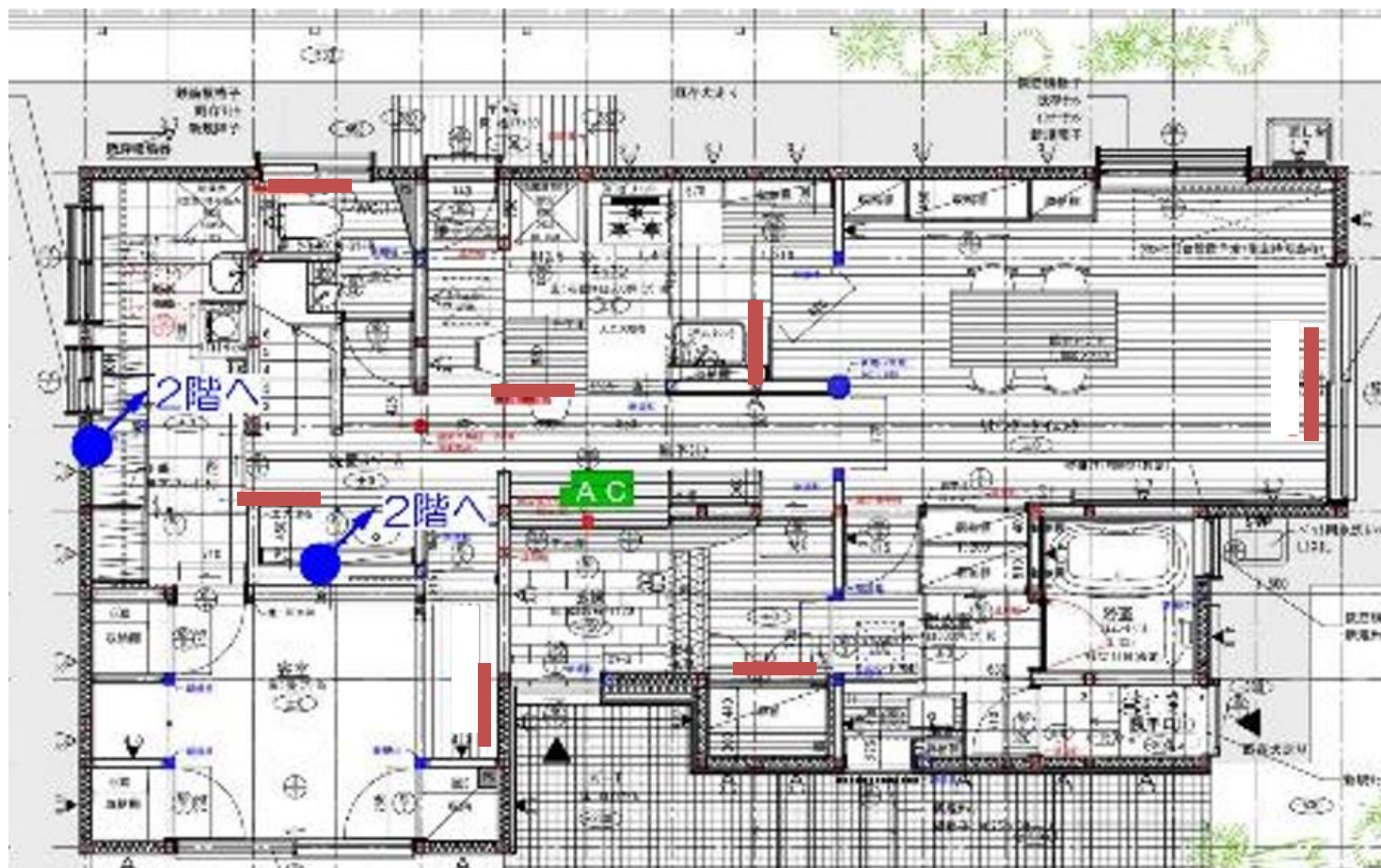
50



玄関木製建具は合板で塞ぐ

測定の為、工事途中部分の隙間を塞ぐ





2階外壁下の耐力壁



2階外壁下に新規設けた耐力壁



断热障子



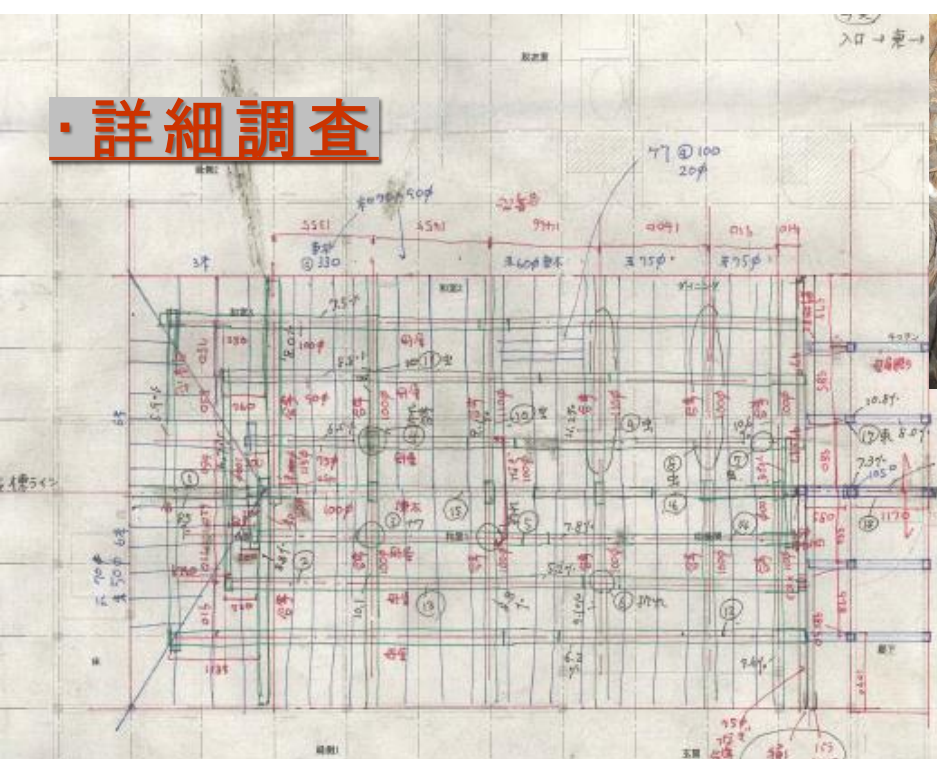


住宅医の改修事例 2
2019

茅葺の小屋をとり除き2階増築



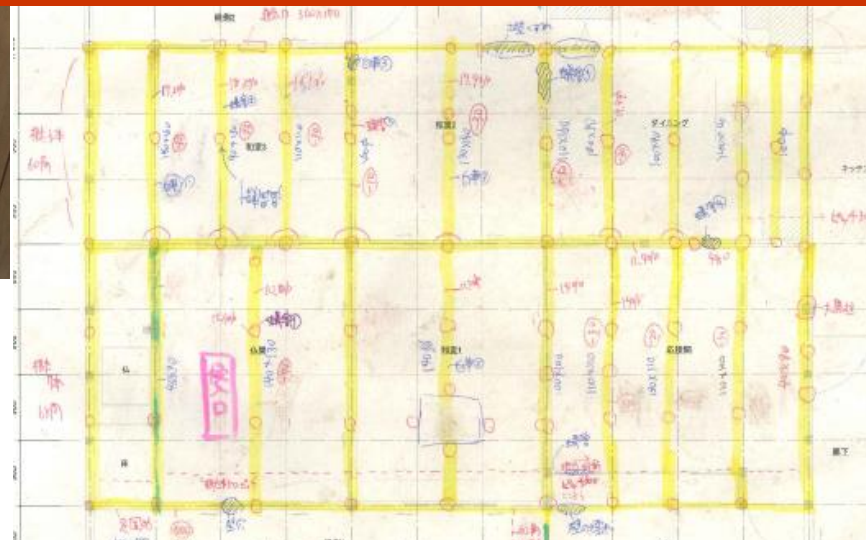
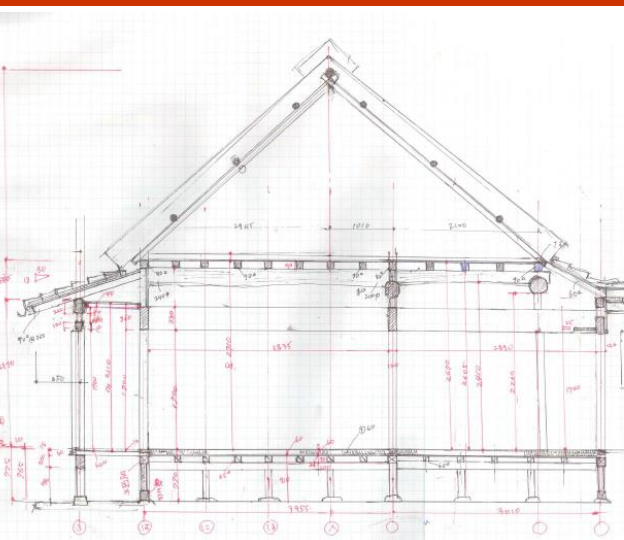
・詳細調査



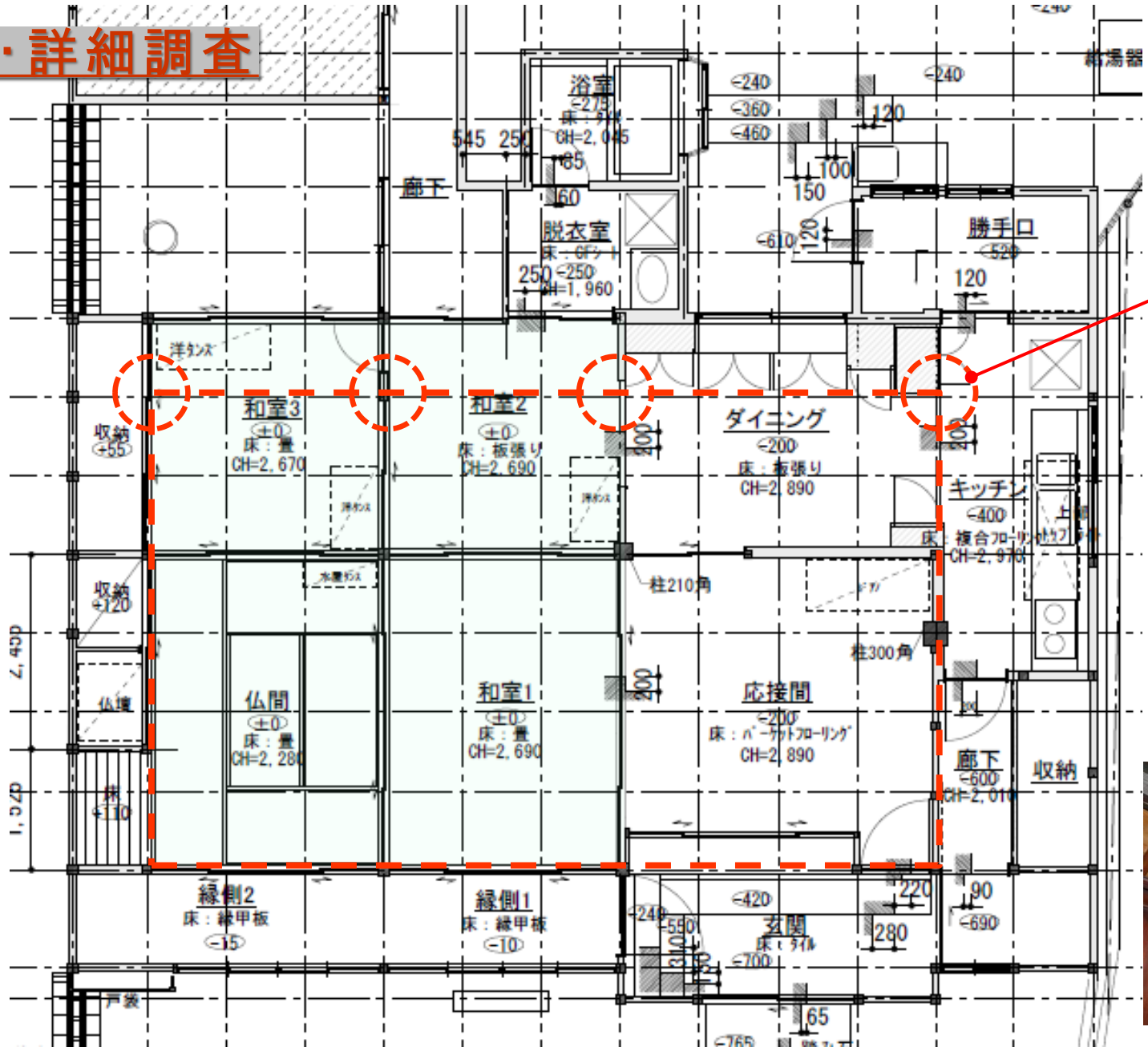
詳細調査 2017年12月11日

調査員9名

調査費 309,380円(税別)



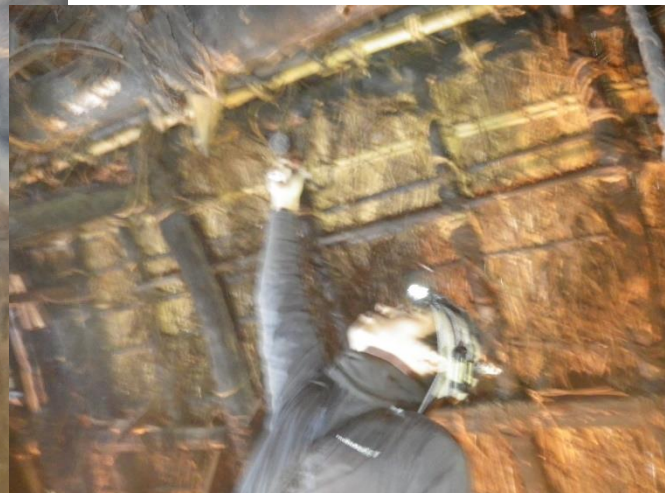
・詳細調査



◆2階柱直下に柱が無い

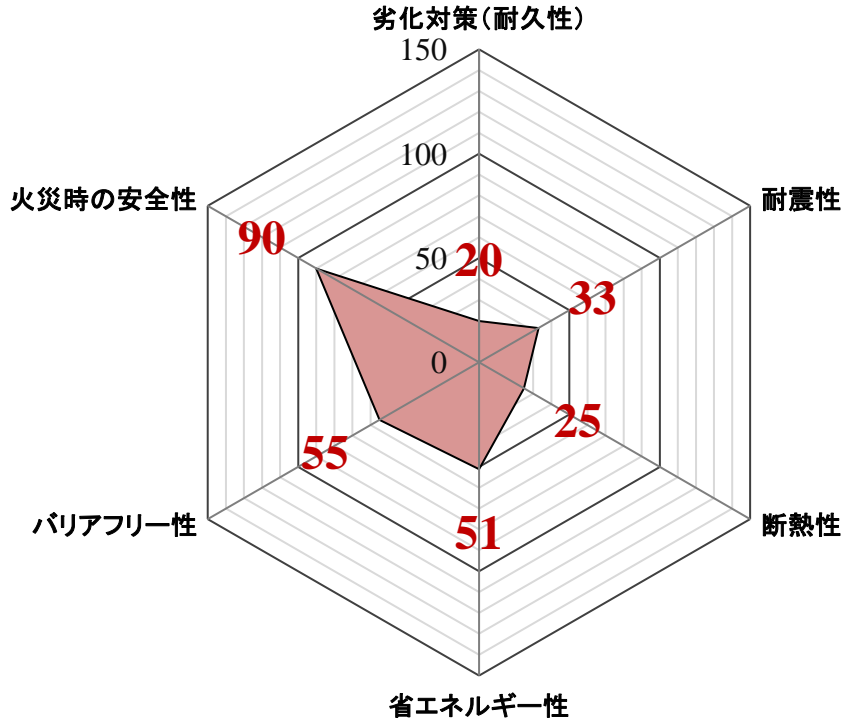


・詳細調査



・現況建物性能

所在地:大阪府四條畷市



劣化対策 耐久性	評価項目	得点	劣化事象 あり(広範囲)	低減 0.7	評価得点 20
	外壁の軸組等	0			
	土台の防腐・防蟻	0			
	浴室の防水	0			
	脱衣室の防水	18.3			
	地盤の防蟻	10			
	基礎の高さ	0			
	床下の防湿・換気	0			
	小屋裏の換気	0			
	床下の点検	0			
小屋裏の点検	0				

耐震性	評価項目	評点	評価得点 33
	上部構造評点	0.33	

断熱性	評価項目	基準値	計算結果	低減	評価得点 25
	外皮平均熱貫流率(UA値)	0.87	2.83		
	平均日射取得係数(na値)	2.8	6.7	0.9	
	防露措置	リスクなし		1	
	外壁・間仕切り壁上下の気流止め	気流止めあり		1	
断熱性能に関する著しい劣化事象	劣化事象あり		0.9		

省エネルギー性	評価項目	基準値	計算結果	低減	評価得点 51
	一次エネルギー消費量(GJ)	82.4	161.1		
断熱性能に関する著しい劣化事象	劣化事象なし			1	

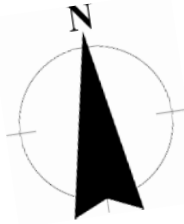
バリアフリー性	評価項目	得点	評価得点 55
	便所の配置・寝室の大きさ	5	
	浴室の大きさ	15	
	便所の形状・大きさ	5	
	玄関・浴室出入口の幅	10	
	その他の出入口・通路の幅	0	
	玄関・浴室出入口の段差	0	
	バルコニー・その他の段差	0	
	階段の形状	15	
	手すり・転落防止手すり	0	
アプローチ	5		

火災時の安全性	評価項目	得点	評価得点 90
	火源付近の内装(壁)	15	
	火源付近の内装(天井)	0	
	火災警報器の設置(寝室、階段、台所)	0	
	火災警報器の設置(その他の居室)	0	
	消火器の設置(火源付近)	0	
	二方向避難の確保(全ての居室)	15	
	屋根の防火性能(基準法要求性能)	15	
	軒裏の防火性能(基準法要求性能)	15	
	外壁の防火性能(基準法要求性能)	15	
開口部の防火性能(基準法要求性能)	15		

上部構造評点
 X方向 0.33 < 1.00
 Y方向 0.49 < 1.00

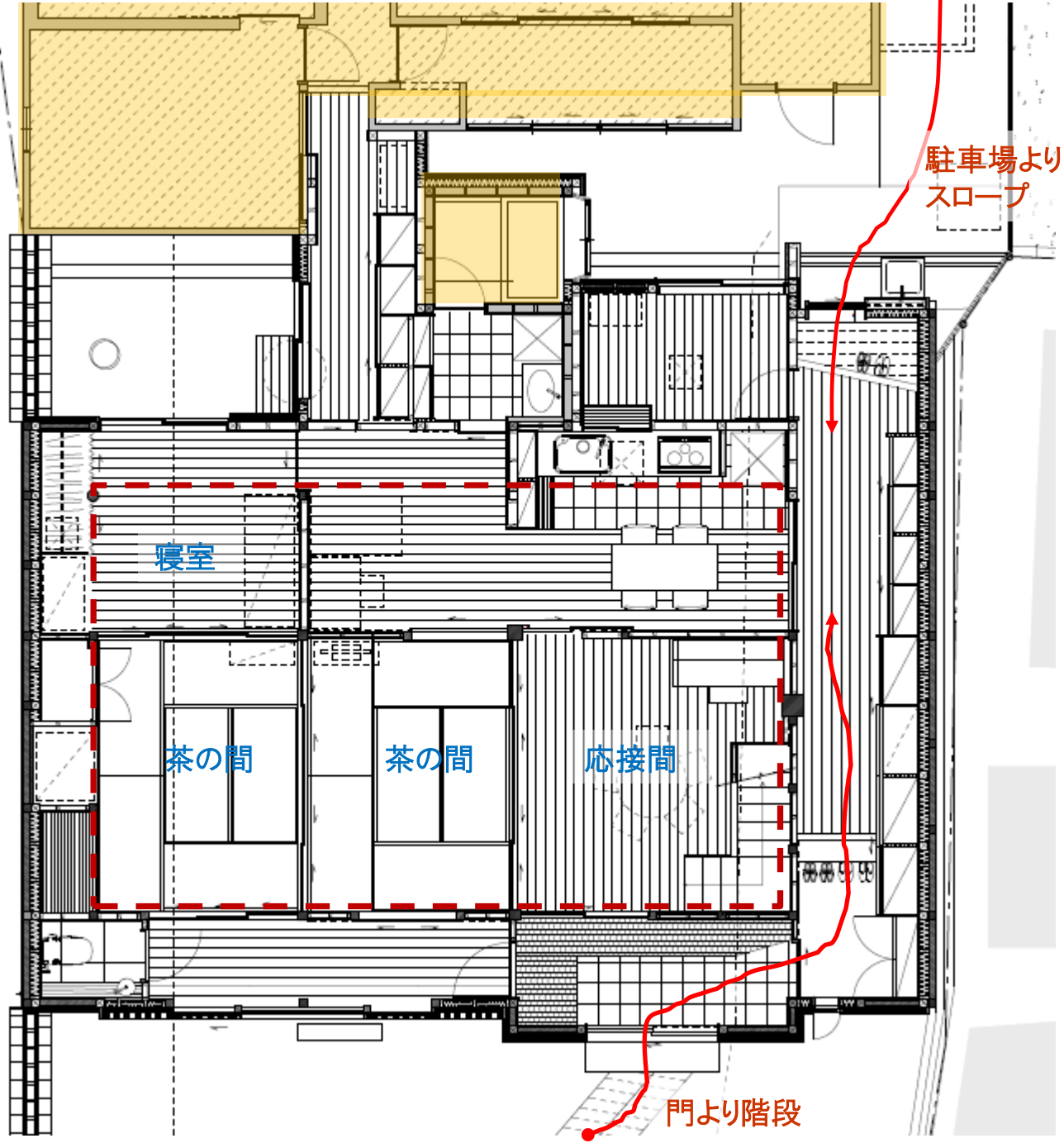
UA値 2.86W/m²K > 0.87W/m²K
 (Q値 10.34W/m²K > 2.70W/m²K)

・改修計画



既存

全面道路



駐車場より
スロープ

寝室

茶の間

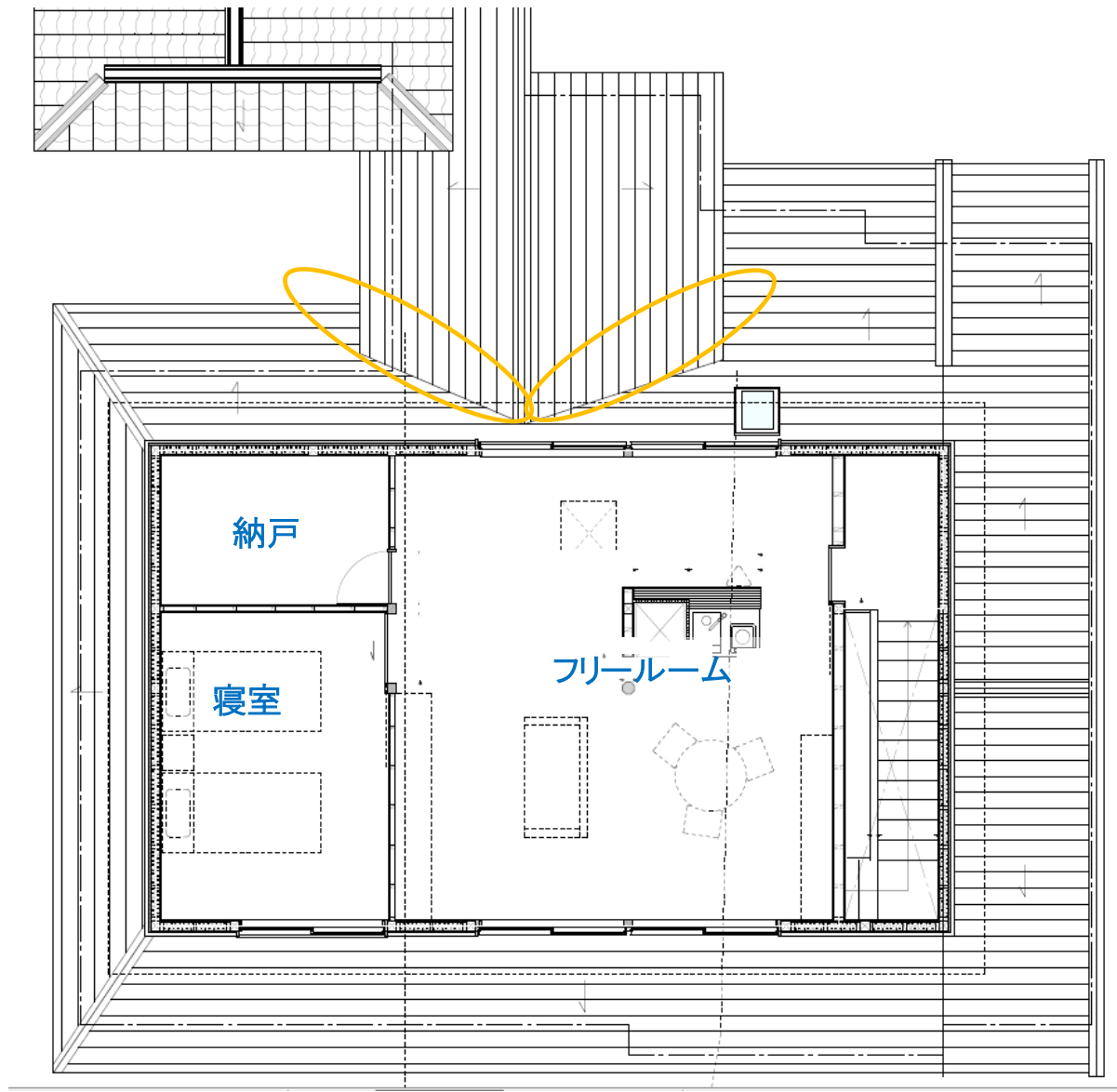
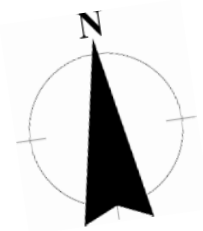
茶の間

応接間

門より階段

改修1階平面図

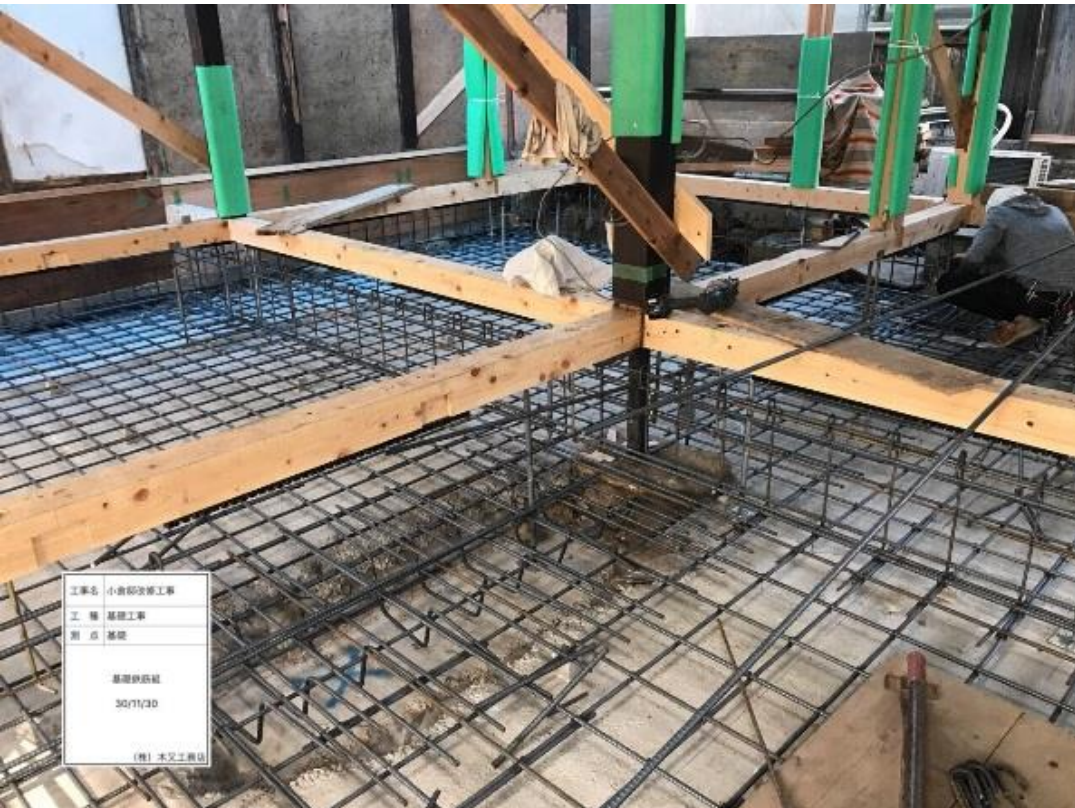
・改修計画



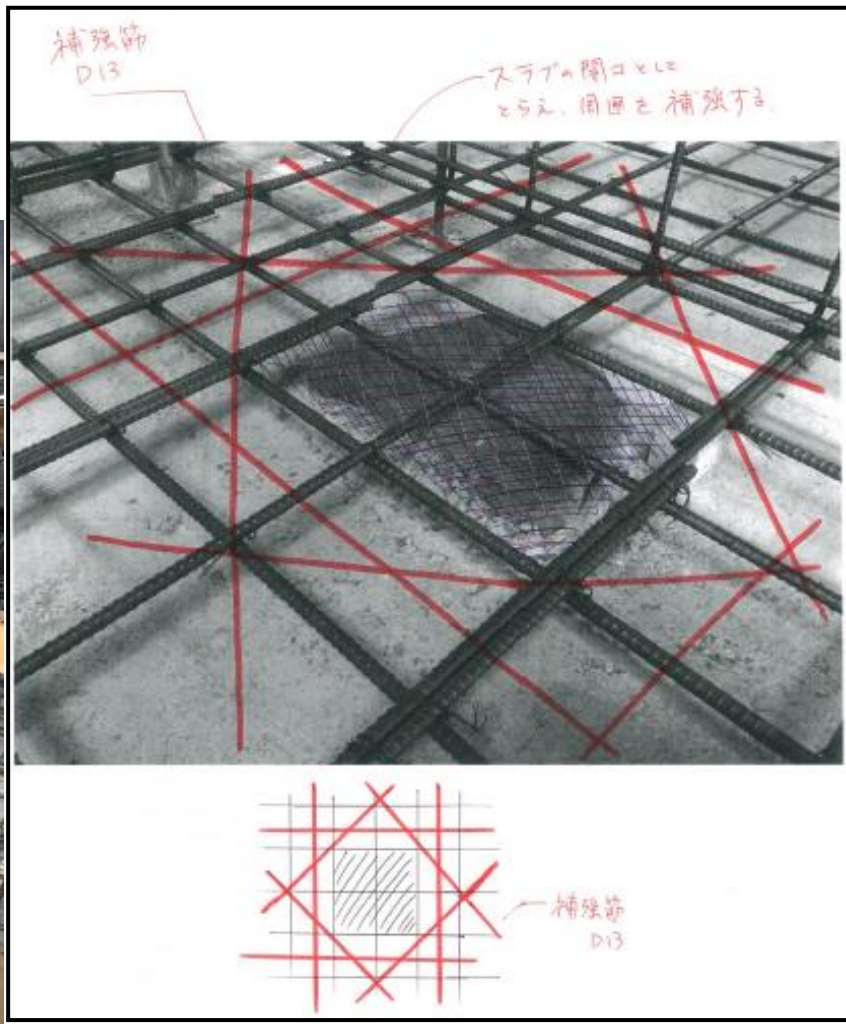
改修2階平面図

・基礎工事

鉄筋を組む



工事名	小倉邸改修工事
工種	基礎工事
箇所	基礎
基礎鉄筋組	
30/1/30	
(株) 木元工務店	



· 基礎工事

基礎完成



・断熱性能

天井～パーフェクトバリア 厚200



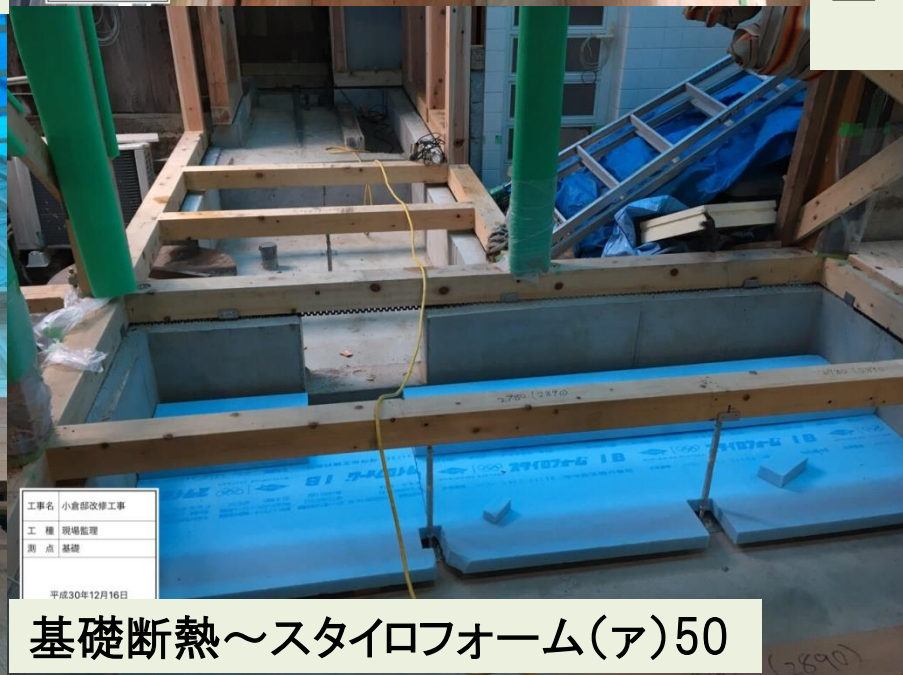
壁～パーフェクトバリア (ア)100
+フェノバボード(ア)30



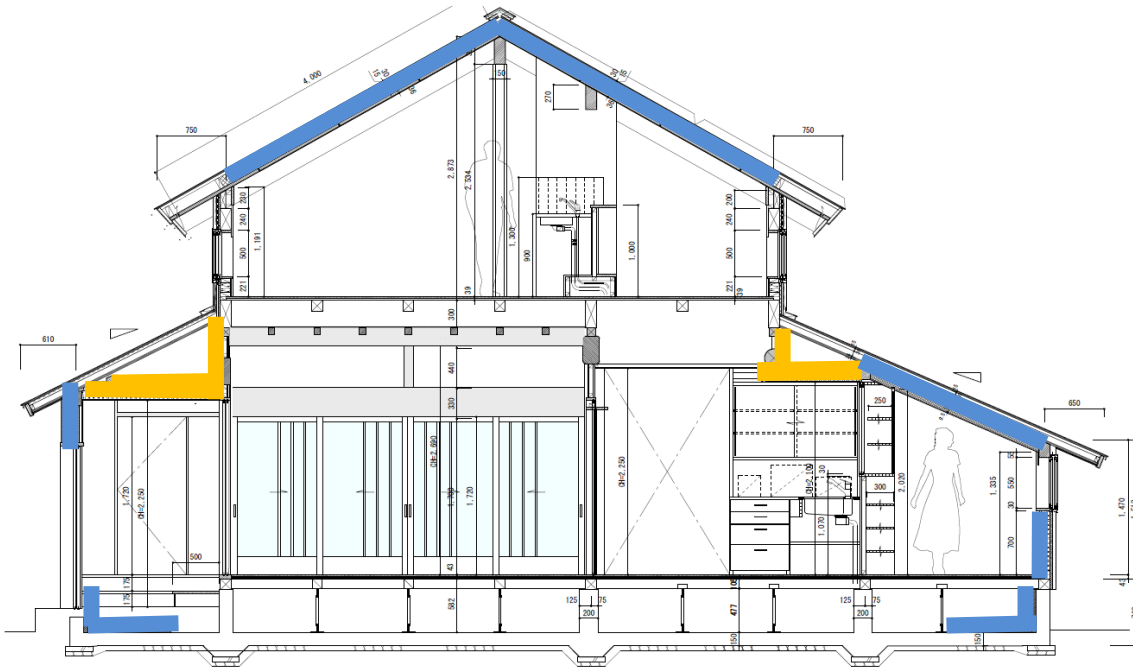
屋根～フェノバボード
(ア)120



基礎断熱～スタイロフォーム(ア)50



・断熱性能



屋根 平均U値

0.22W/m²K <0.24W/m²K

2F:フェノバボード(ア)120【充填】
1F:PFB(ア)100+100【充填】

外壁 平均U値

0.29W/m²K <0.53W/m²K

2F:PFB(ア)108【充填】+
フェノバボード(ア)30【外張】

開口部 平均U値

2.68W/m²K <4.65W/m²K

樹脂アルミ複合サッシ
+付属部材(ハニカム)

床 平均U値

1.05W/m²K <0.48W/m²K

構造用合板(ア)28の上、
ヒノキフローリング(ア)15

Q値:

10.34W/m²K
<2.7W/m²K



Q値:

2.12W/m²K
<2.7W/m²K

UA値:

2.86W/m²K
<0.87W/m²K

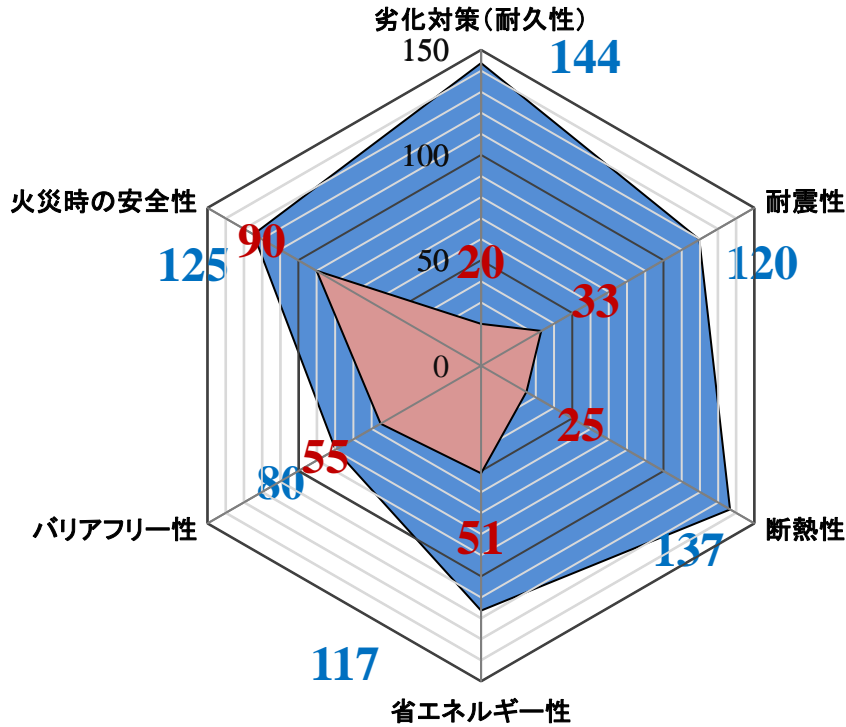


UA値:

0.57W/m²K
<0.87W/m²K

・現況建物性能

所在地:大阪府四條畷市



上部構造評点

X方向 0.33 → 1F 1.88 2F 2.05 > 1.00

Y方向 0.49 → 1F 2.34 2F 2.77 > 1.00

UA値 $0.57\text{W}/\text{m}^2\text{K} < 0.87\text{W}/\text{m}^2\text{K}$
 (Q値 $2.12\text{W}/\text{m}^2\text{K} < 2.70\text{W}/\text{m}^2\text{K}$)

	評価項目	得点	劣化事象	低減	評価得点
劣化対策 耐久性	外壁の軸組等	18	なし	1	144
	土台の防腐・防蟻	18			
	浴室の防水	0			
	脱衣室の防水	18			
	地盤の防蟻	18			
	基礎の高さ	18			
	床下の防湿・換気	18			
	小屋裏の換気	0			
	床下の点検	18			
	小屋裏の点検	18			

	評価項目	評点	低減	評価得点
耐震性	上部構造評点	1.20		120

	評価項目	基準値	計算結果	低減	評価得点
断熱性	外皮平均熱貫流率 (UA値)	0.78	0.57		137
	平均日射取得係数 (na値)	2.8	0.6	1.0	
	防露措置	リスクなし		1	
	外壁・間仕切り壁上下の気流止め	気流止めあり		1	
	断熱性能に関する著しい劣化事象	劣化事象なし		1	

	評価項目	基準値	計算結果	低減	評価得点
省エネルギー性	一次エネルギー消費量 (GJ)	120.7	103.6		117
	断熱性能に関する著しい劣化事象	劣化事象なし		1	

	評価項目	得点	低減	評価得点
バリアフリー性	便所の配置・寝室の大きさ	15		80
	浴室の大きさ	15		
	便所の形状・大きさ	10		
	玄関・浴室出入口の幅	10		
	その他の出入口・通路の幅	0		
	玄関・浴室出入口の段差	0		
	バルコニー・その他の段差	0		
	階段の形状	15		
	手すり・転落防止手すり	0		
	アプローチ	15		

	評価項目	得点	低減	評価得点
火災時の安全性	火源付近の内装 (壁)	15		125
	火源付近の内装 (天井)	15		
	火災警報器の設置 (寝室、階段、台所)	15		
	火災警報器の設置 (その他の居室)	5		
	消火器の設置 (火源付近)	0		
	二方向避難の確保 (全ての居室)	15		
	屋根の防火性能 (基準法要求性能)	15		
	軒裏の防火性能 (基準法要求性能)	15		
	外壁の防火性能 (基準法要求性能)	15		
	開口部の防火性能 (基準法要求性能)	15		









嘉小自年三
二月
日好是公日





茶の間







写真/畑拓

改修設計の現状と問題点

- ◆【設計】 既存建物の診断は、「耐震診断」に限られる
- ◆【施工】 「開けてみなければわからない」 → リスクが高い



建築病理学に基づいた 既存建物診断技術・制度の整備を目指す

2006岐阜県立森林文化アカデミーの 木造建築病理学講座 開始



英国のレディング大学のカリキュラムを参考



長期優良住宅先導事業の採択が契機

2008年/ H20年度 木造建築病理学既存ドックシステム

2010年/ H22年度 段階的改修方法の確立～木造建築病理学既存ドックシステム2

2011年/H23年度 性能向上レベルの明確化～木造建築病理学既存ドックシステム3

↓
2009 住宅医スクール 開校



- ◆ 2009年5月より、名古屋駅前にて 住宅医スクールを開校
- ◆ 2011年6月 東京住宅医スクール開校
- ◆ 2012年6月 大阪住宅医スクール開校

2014年 一般社団法人 住宅医協会 発足

◆ 2020年度 <休講>

- ◆ 2021年 オンラインスクール スタート！ <第12期>
- ◆ 2022年 オンラインスクール 2/5開講 <第13期>

住宅医スクール2022 (第13期) カリキュラム

※講師・講義内容・講義日は都合により変更することがあります。ご了承ください。

回	開講 13:30	第1講義 13:40~15:20	第2講義 15:30~17:10
1	2/5 (土) 概論・耐久性	木造建築病理学の必要性 住宅を診て治す、住宅医の調査診断から改修の概要 三澤文子 / Ms建築設計事務所代表 滝口泰弘 / 滝口建築スタジオ代表	木造建築物の耐久性能と維持管理 劣化事象から学ぶ耐久性向上設計 中島正夫 / 関東学院大学建築・環境学部教授
2	3/5 (土) 防腐・防蟻	木材の劣化と対策 木材腐朽菌・害虫の生態と対策 築瀬佳之 / 京都大学大学院農学研究所准教授	防蟻対策の実務 蟻害の事例から学ぶ、診断・対策のポイント 水谷隆明 / 阪神ターミトラボ代表
3	3/26 (土) 温熱	温熱環境の改善と対策① 温熱計算をマスターし、温熱性能を向上させる 辻充孝 / 岐阜県立森林文化アカデミー准教授	温熱環境の改善と対策② 結露計算をマスターし、防露設計を身につける 辻充孝 / 岐阜県立森林文化アカデミー准教授
4	4/23 (土) 構造1	構造に関する基準、調査診断 構造、耐震、調査診断の基礎 山辺豊彦 / 山辺構造設計事務所代表	構造的不具合の原因と対策① 「ヤマベの耐震改修」実践と解説 山辺豊彦 / 山辺構造設計事務所代表
5	5/21 (土) 構造2	構造的不具合の原因と対策② 意匠事務所の耐震診断・補強の実務 (静岡県より) 清水利至 / 清水建築設計室代表	構造的不具合の原因と対策③ 木造住宅の耐震改修促進に向けた課題と取り組み 井戸田秀樹 / 名古屋工業大学大学院教授
6	6/18 (土) 設備・高齢者	設備の劣化診断と対策 いまさら聞けない配管設備の基礎～Q&A解説 清水基之 / (株)清水代表取締役	住宅改修における高齢者対応 在宅介護から障がい者の生活支援まで 室崎千重 / 奈良女子大学生活環境学部准教授
7	7/16 (土) 防火	防火性能の改善と対策① 最新の法令基準を理解する～木造の可能性 安井昇 / 桜設計集団一級建築士事務所代表	防火性能の改善と対策② 事例から学ぶ、防火性能を上げる改修方法 安井昇 / 桜設計集団一級建築士事務所代表
8	8/20 (土) 契約・法規	契約実務の留意点 住宅改修のトラブル事例と対応、予防方法 中尾太郎 / 中尾法律事務所代表 木津田秀雄 / 胡桃設計一級建築士事務所代表	既存住宅改修と法規関係 申請実務や過及事項等の留意点 稲岡宏 / (株)兵庫確認検査機構確認検査部構造課
9	9/17 (土) 構造3	構造的不具合の原因と対策④ 事例から学ぶ、伝統木造の改修方法 松井郁夫 / (株)松井郁夫建築設計事務所代表取締役	構造的不具合の原因と対策⑤ 事例から学ぶ、伝統木造の耐震改修設計 山中信悟 / (株)悟工房代表取締役
10	10/15 (土) 実践1	木造建築病理学の実践 事例で解説、調査診断から改修までの実務 豊田保之 / トヨタヤシ建築設計事務所代表	マンションリフォーム 造音、温熱、木材、リフォームの設計テクニック 小谷和也 / (株)マスタープラン一級建築士事務所代表取締役
11	11/12 (土) 実践2	既存住宅の改修方法① 事例から学ぶ、基礎の改修方法 (意匠×構造による解説) 三澤文子 + 鈴木竜子 / 山辺構造設計事務所	既存住宅の改修方法② 事例から学ぶ、軸組・壁・屋根の改修方法 (意匠×構造による解説) 三澤文子 + 鈴木竜子 / 山辺構造設計事務所

各回終了後、質疑応答等を目的とした懇親会(オンライン)も開催します(参加任意)。

スクール以外の講習会、イベント等 ※テーマ、日時等は随時ご案内させていただきます。

【スキルアップ講習会】 調査診断や温熱・構造計算の詳細など、スクールではカバーしきれないものをテーマに、定期的に開催します。

【住宅医の仕事】 各地の住宅医による仕事(改修事例)を発表する場です。年に数回開催します。

【住宅医検定会】 住宅医になるために、スクール生が改修事例を発表する公開審査会です。毎年12月に開催します。

全11回、22のライブ講義 + オンデマンド動画配信

各講義はZOOMを使用してライブで実施し、各講義の録画を期間限定で受講生のみへ配信します。

受講申込はこちらから →

当日欠席された場合や通信障害等で受講できなかった場合も、録画講義のオンデマンド受講が可能です。

【申込URL】 <https://sajp.or.jp/inquiry-application2022/>



住宅医スクール2022 (第13期) 講師紹介

※講師略

三澤 文子
Ms建築設計事務所 代表
(株)現代計画研究所を経て85年事務所設立。01～09年岐阜県立森林文化アカデミー教授(現客員教授)。震災後MOKスクール開始。07年日本建築学会教育賞受賞。

滝口 泰弘
滝口建築スタジオ一級建築士事務所 代表
99年東京都立大学大学院修了。関東設計コンサルト勤務を経て、岐阜県立森林文化アカデミー入学(1期生)。NPO WOOD AC理事。ウッドマイルスフォーラム理事。

中島 正夫
関東学院大学建築・環境学部 教授
早稲田大学大学院理工学研究科修了。博士(工学)。2010～13年関東学院大学副学長。専門は木造建築物の耐久性、耐用性、維持管理、補修、建築病理学等。

築瀬 佳之
京都大学大学院農学研究所 准教授
京都大学大学院農学研究所修了。博士(農学)。木材穿孔昆虫の非破壊モニタリング技術、木材の残存耐力性能評価、物理的なシロアリ防除技術の研究等に従事。

水谷 隆明
阪神ターミトラボ 代表
薬剤メーカー研究所にてシロアリ薬剤の研究開発に従事。省薬剤施工を目指して防除技術確立のため独立。全国各地で駆除業者やビルダー向けセミナーを開催。

辻 充孝
岐阜県立森林文化アカデミー 准教授
Ms建築設計事務所を経て現職。設計、温熱環境、エネルギー性能の講座担当、日本建築士会連合会・環境部会委員。環境共生住宅ハッパンデザイン効果検討委員他。

山辺 豊彦
山辺構造設計事務所 代表
青木繁研究室を経て78年事務所設立。法政大学(82-97年)・千葉大学(06-08年)非常勤講師。(一社)日本建築構造技術者協会・関東甲信越支部・東京サテライト顧問。

清水 利至
清水建築設計室 代表
設計事務所勤務を経て07年設計室開設。01年～静岡県耐震補強相談士として活動。住宅の設計監理と共に、100件以上の耐震診断・補強工事監理を行っている。

井戸田 秀樹
名古屋工業大学大学院 教授
木造住宅の耐震化促進に向けた安価な工法開発とともに、所有者への安全・安心の説明技術、行政と設計士等関係者間連携の方向にも取り組んでいる。

清水 基之
(株)清水 代表取締役
家業(清水設備)勤務を経て95年(有)清水設立。1級配管技術士・給水装置主任技術者他。岐阜県立国際たぐみアカデミー設備システム科非常勤講師。

室崎 千重
奈良女子大学生活環境学部 准教授
神戸大学大学院自然科学研究科修了。博士(工学)。設計事務所勤務、兵庫福祉のまちづくり研究所研究員を経て12年より現職。住環境、まちづくりについて研究。

安井 昇
桜設計集団一級建築士事務所 代表
東京理科大学大学院修了。積水ハウス勤務を経て99年事務所設立。04年早稲田大学理工学研究科修了(博士)早稲田大学招聘研究員、東京都大学非常勤講師他。

中尾 太郎
中尾法律事務所 代表
京大法学部・同志社大学法科大学院卒業。弁護士。17年独立。欠陥住宅関西ネット、大阪住宅紛争審査会に参加。多くの建設業・不動産業の顧問を行っている。

木津田 秀雄
胡桃設計一級建築士事務所 代表
関西大学工学部建築学科卒。マンション設計を行う事務所を経て、阪神淡路大震災を契機に独立。木造住宅の設計、欠陥住宅の相談や鑑定を行う。

稲岡 宏
(株)兵庫確認検査機構 確認検査部 構造課
大阪大学工学部環境工学科卒。(株)地域計画建築研究所、地元住宅会社勤務を経て、08年より現職。構造担当。構造設計一級建築士、建築基準適合判定資格者、他。

松井 郁夫
(株)松井郁夫建築設計事務所 代表取締役
(株)現代計画研究所を経て85年に事務所設立。92年まちづくりデザイン室併設。内閣府地域伝道師。ワークショップ「き」代表理事。19年日本エコハウス大賞受賞。

山中 信悟
(株)悟工房 代表取締役
(株)三衛建築設計事務所、(株)東匠技術勤務を経て08年工房設立。意匠設計(住宅・施設)及び構造設計(許容応力度計算・限界耐力計算・耐震診断等)を行っている。

豊田 保之
トヨタヤシ建築設計事務所 代表
瀬戸本洋建築研究室、Ms建築設計事務所を経て05年事務所開設。京都芸術大学・大学院非常勤講師。風と太陽と土壁の力を活かす住まいづくりを実践している。

小谷 和也
(株)マスタープラン一級建築士事務所 代表取締役
国産材注文住宅の地場工務店(設計士)勤務を経て06年に独立。国産材を用いた中古マンションのリノベーションを提唱し、関西・関東で幅広く設計を行っている。

鈴木 竜子
山辺構造設計事務所
法政大学工学部建築学科卒業後、(有)山辺構造設計事務所入所。大工塾(丹呉明彦氏共催)に設立前から参加「ヤマベの木構造」、「ヤマベの耐震改修」他執筆。

※講師・講義内容は都合により変更することがあります。ご了承ください。

オンライン

住宅医 スクール

2022 (第13期) 受講案内 ●●●

- 【日 時】 2022年2月～2022年11月 (全11回、2講義/回)
各回 13:30～17:10 (受付 13:00～)
※講義日、講義内容は別途住宅医スクールカリキュラムを参照ください。
- 【場 所】 ZOOMを用いたオンライン講義
※ZOOMが使用できる環境を各自ご用意ください。
- 【主 催】 一般社団法人住宅医協会
- 【定 員】 100名程度 ※誰でもご参加頂けます
- 【受講料】 新規受講生 (通年一括申込) 100,000円
(税込価格)
※スポット受講より10,000円お得です。
※スキルアップ講習会の受講料割引もあります。
(スポット受講) 10,000円/1日(2講義)
※スポット受講は1日単位の受講となります
- 住宅医スクール修了生 3,000円/1日
- 住宅医協会 一般会員(修了生かつ入会された方) 2,000円/1日
- 住宅医協会 正会員(住宅医) 1,000円/1日

【お申込】 一般社団法人住宅医協会ホームページ<受講申込フォーム>から
お申込みください。

受講申込はこちらから →

【申込URL】 <https://sapj.or.jp/inquiry-application2022/>



fumiko misawa



Ms Architects
habitable material
+ technical skill

三澤 文子

Ms建築設計事務所 主宰
岐阜県立森林文化アカデミー客員教授
一級建築士/住宅医
E-mail fumiko@ms-a.com

■ Ms建築設計事務所

〒565-0874
大阪府吹田市古江台3-18-10
TEL 06-6831-5917 FAX 06-6831-2654
URL <http://www.ms-a.com>

Ms東京事務所

〒164-0001
東京都中野区中野2-12-5メゾンリラ104号モノ・モノ内